

# 週刊 かわら版

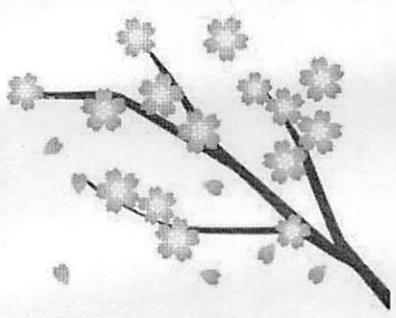
生徒と保護者のための



## こぞの花にあらず

いよいよ修了式。また、新学年度を迎えるにあたり、気持ちを新たにしたい。「桜の開花がニュースになる国ってステキじゃないですか」というJR東海のキャッチフレーズを思い出す。今年も桜の季節を迎えた

最近の楽しみは、毎週日曜日のNHK大河ドラマ「西郷どん」だ。十年前に放映された「篤姫」も楽しみにしていた。ある場面のことが記憶に残っている。激動の幕末を生きた島津斉彬のひとこと。病の床を離れて桜を見ながら篤姫に放ったことばである。「こそ(去年)の花にあらず」みかけは似ていても、去年と



### 先見コーナー

- 3/25(日) ○自動車整備士国家試験  
○公務員受験模試(希望者・無料)
- 4/06(金) ○始業式
- 4/09(月) ○入学式
- 4/10(火) ○新入生オリエンテーション(～16日)  
○制服きこなしセミナー(5限)  
○第1回実力考査  
○進路マップテスト(2・3年生)  
○2年eブレップ始業式
- 4/11(水) ○SPIテスト
- 4/15(日) ○春季情報処理技術者試験
- 4/16(月) ○進路マップ(1年専門系)
- 4/17(火) ○家庭訪問・教育相談週間(～20日)  
○検尿(～19日)
- 4/18(水) ○第1回代議員会
- 4/19(木) ○レントゲン検査 ○第1回情報祭実行委員会
- 4/20(金) ○3年進路希望調査
- 4/21(土) ○3年進研模試(記述)(～22日)
- 4/23(月) ○防災訓練(3・4限)  
○防犯・交通教室(5限) ○性教育(6限)

に映るだろう。昨年とは違うだろう。また、来年も違うことだろう。

### 最近のHP更新

- KTS「かご★スタ」出演(情報処理科)
- インターハイ看板設置(メカトロ部)
- 瀨田先生・山形屋で個展
- 吹奏楽部・コンサート谷山
- 吹奏楽部・コンサート始良
- 進学速報・大学追加
- 柔道部・日本武道館へ
- 女子水泳シンガポール遠征
- 和太鼓部・養護学校で演奏
- 瀨田先生(美術)の個展

### 催し物案内

- 海老原賞受賞記念  
3月28日(水) 4月3日(火)
- 山形屋画廊(3号館3階)  
○ジョイントコンサート  
3月24日(土) 12時30分開場  
加音ホール(始良市)  
ジョイントの団体  
始良小学校・重富中学校  
加治木中学校・隼人中学校  
舞鶴中学校の各吹奏楽部  
ウィンドアンサンブル  
DOS(一般楽団)  
○スプリングコンサート  
3月31日(土) 13時開場  
谷山サザンホール  
賛助出演  
東谷山中学校吹奏楽部  
谷山北中学校吹奏楽部

### オプンキャンパス情報

- 第一工業大学  
3月24日 10時00分開始
- 鹿児島純心女子大学  
3月24日 10時00分開始
- 3月31日 10時00分開始
- 鹿児島県美容専門学校  
3月25日 12時30分開始
- 第一幼児教育短期大学  
3月26日
- 鹿児島歯科学院専門学校  
3月28日 10時00分開始
- 鹿児島医療技術専門学校  
3月31日 10時30分開始
- 鹿児島キャリアデザイン専門学校  
3月31日 10時30分開始

### 就職指導情報

就職を希望する二年生に対して、「就活ノート」「作文ノート」を配付しています。この休暇中に与えられた課題を必ず終えて、新学年度に備えてください。

### 編集後記

28号で今年度の発行は最後です。一年間のご愛読ありがとうございました。3学期の発行回数が予定より少なくなりました。お詫び申し上げます。来年度の「かわら版」発行については未定です。

### 清流

毎朝、校門をくぐると「今日も頑張れよ」とふたりの立像から声が聞こえてきそうである。19日は学園創立者の原田幸孝先生の「命日」。亡くなられたのはもう20年も前のこと。▼いつだったか、週番で校門付近に立っていた朝のこと。優しそうな婦人が、会釈をし、私たちの前を通り、立像に対し丁寧に手を合わせたのである。先生との面識はないとのこと。しかし、「こんな立派な学校をおつくりになった方とあわせて一緒に並んでいらっしやる奥様の銅像に感激するんですよ」とのこと。さらに、「偉業を称える銅像は多いが、陰で支えたご婦人を称えた銅像は見たことがない」と続いた▼先生を知る人は、「働くことが趣味だった」と口を揃えて言う。今、「働き方」がニュースの話題のひとつである。ビジネスの語源はbusy(忙しい)である。また、labor(労働)の語源は「苦しい」を表すラテン語である。西洋の「働く」に関わる感情は忙しかったり、苦しかったり、自分がいとも中心である。それに対し、日本の「はたらく」は「はた」を「らく」にすること。自分のことだけでなく、他人のことを考える。他人を尊び、和を大切にする日本の心は、大切にしたい。